

南中 便り

The Letter from Minamiōsawa!



協力

勤勉

善良

令和6年4月10日
第1号
南大沢中学校

令和6年度のスタートにあたって

校長 荻原 隆行

毎年春になると、「よし頑張ろう」「何か今までと違うことに挑戦してみよう」と気持ちを新たにしたいと思います。先日の始業式や入学式では、本校の生徒たちもそれぞれ決意を新たにしたことでしょう。ぜひ、今年一年間や残りの中学校生活を有意義に過ごすためにも、今の気持ちを忘れずに、一人ひとりが自分のペースで努力し続けてほしいと思います。そのような気持ちから、入学式では次のような式辞を送りました。

【入学式式辞 抜粋】

今回私は、みなさんに、中学校生活で心掛けてほしい二つの話をしたいと思います。

一つ目は「思い切って挑戦してほしい」ということです。今皆さんは中学校入学を機会に、新しい自分に挑戦してみたいと思っていないませんか。授業であまり発言できなかったけど、中学校では積極的に発言してみたい。人の前に出て話をするのが苦手だったけれど、中学校では学級委員や生徒会役員等に挑戦してみたい。行事にはあまり積極的に参加できなかったけど、中学校では力を思いっきり発揮してみたい。など、人それぞれに違いはあると思いますが、みな何かしら思っていることがあるはずです。ぜひ、この機会に思い切って挑戦してみてください。挑戦は初めからうまくいかないことがあるかもしれませんが。失敗することもあるかもしれませんが。でも、心配しないでください。失敗は中学生の特権だと思います。みな失敗を積み重ねて成長しています。ぜひ、心に決めたことがあれば挑戦してみてください。

二つ目は「人との出会いを大切にしてほしい」ということです。これからの中学校生活で多くの人と出会うでしょう。出会いは新しい自分の発見につながります。人はそれぞれ性格や考え方も違い、行動も異なります。今まで「こうしなければならない」と思っていたものが、人との出会いによって「こんな考え方もあるのか」と自分を新しく変えていくことができます。また、人との交流を通して、考え方の多様性を認め、支えあい、励ましあうことが温かい人間関係を生み、お互いを大切にする雰囲気を作り出すこともできます。

みなさんが、新しい友だち、新しい先生方、多くの保護者や地域の方々と出会い、支えや励ましをもらいながら中学校3年間で自分の得意なこと、やりたいことを見つけて、自分の良いところをどんどん伸ばしてくれることを期待しています。

さて、本校では、今年度から小中一貫教育の一環として、数学科の教員が南大沢小学校と柏木小学校へ年間を通して出向き、算数授業のお手伝いをします。初めての試みなので、詳細は3校で練りながら進めますが、少しでも学力向上へ繋がる試行となるよう、南中ブロック一体となって進めてまいります。

最後になりますが、今年度も本校では、生徒の健やかな成長を目指し、家庭と地域社会と協力しながら、全力をあげて教育活動を展開して参る所存です。保護者、地域の皆様におかれましては、昨年度同様、本校の教育にご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

